



大阪錦繪新話 第二号

長邪 未言橋通り
 井池の川は男女が
 さげぶ聲、助けて
 暮すぎ八時頃、暗夜の
 ことに雨あつて、志とる一も徳と
 情死の仕損とあるん、助けんと。
 目つけとある真意の、名も善七が
 眼ととめて、見まへ人刃車也へ、引かん
 とてあせりうら、巡吏何某んせ夫り
 中へく車ゆけのけ、様子を見けへ車
 夫へ第六大區、小區中、不審吉との人者まで
 客へ高洋所、四番所、松井熊吉ら女ことまで
 くらうんの灯、消し、路と失ひ川中へ

笹木芳龍述 并画

車と壊送と
 とつと、向うのう
 とへいむら、善七も
 とが折るも、末と
 らま、こそ助り、あ
 めがらひ、